

よいちょうどうえいじゅうたくしんちくこうじ(であえーるまほろばだいいいちだんち)

余市町道営住宅新築工事(であえーるまほろば第1団地)

後志総合振興局
余市町

施設の説明

本道営住宅は、JR余市駅から東側へ約1.35kmの住宅地に位置しています。敷地周辺は主に低層の住宅地となっており、公園や幼稚園、病院、高齢者在宅総合ケアセンターなどに近く、生活環境や利便性に優れた地域となっています。

また、余市町は、町民生活に密着した住宅社会資本の整備(計画的な公営住宅の建替・改善の促進、公営者・障がい者向けの住宅の促進と耐震化の促進、優良な宅地の供給など)を推進しており、この道営住宅は、町の取り組みと連携しながら、持続可能な地域社会の構築に向けて、「子どもや子育て世帯が安心して暮らせる住まいと地域のコミュニティの形成に配慮した道営住宅と集会所」を整備することとしています。

建物は周囲の住宅市街地と一体感を感じられる木造平屋建てとしながら、風雪から玄関口を守るため片廊下型プランを採用しました。

菜園側から住棟を見る

発注者	北海道知事	設計	建築: 日本都市設計(株) 外構: HRS(株)
所在地	余市町黒川町17丁目13番2、13番6、13番7、13番8	監理	建築: 日本都市設計(株) 外構: HRS(株)
施設用途	共同住宅	施工	建築(住棟A): (株)福津組 建築(住棟B): 佐竹・赤石経常JV 建築(集会所): 中山建設(株) 外構(1期工事): 中村建設(株) 外構(2期工事): 未定
敷地面積	3,957.49㎡		
延床面積	住棟A 421.730㎡(2LDK 6戸) 住棟B 421.730㎡(2LDK 6戸) 集会所 123.390㎡		
階数	平屋		
構造	W造		
竣工	住棟A 平成30年度 住棟B 令和元年度 集会所 平成30年度		

あさひかわしどうえいじゅうたく(であえーるみやしたひがしだんち)

旭川市道営住宅(であえーる宮下東団地)

上川総合振興局
旭川市

住



施設の説明

この団地は旭川市『北彩都あさひかわ地区計画』の都心居住地区に立地しています。

3つの住棟全117戸からなる大きな団地となっており、旭川市都心のまちなか居住を推し進め、地域の活性化に貢献します。

外観は、隣接する市営住宅の建築高さや色調と一体感のあるデザインとし、都心居住地区にふさわしい景観形成を目指しました。

また、高架橋を挟んで反対側の緑地空間ともゆるやかに連続し、一体感の感じられる外構計画としています。

発注者 北海道知事
所在地 旭川市宮下通16丁目9番、10番、11番
施設用途 共同住宅
敷地面積 3890.80㎡
延床面積 住棟A: 3987.55㎡

36戸(2DK:9戸、2LDK:18戸、3LDK:9戸)
住棟B: 3275.70㎡
36戸(2DK:9戸、2LDK:18戸、3LDK:9戸)
住棟C: 4436.60㎡
45戸(2DK:9戸、2LDK:27戸、3LDK:9戸)
地上9階

RC造
階数 令和2年11月
竣工 建築ABC: 北海道建築設計監理(株)
設計 設備A: (株)真紀設備設計事務所
設備B: (株)テクノクルー
設備C: (株)ビーゴーイング
外構A: (株)富士建設コンサル
外構B: 未定
外構C: (株)アサヒ建設コンサルタント

監理 建築ABC: 北海道建築設計監理(株) 施工
設備A: (株)岩見田設備設計事務所
設備B: (株)テクノクルー
設備C: (株)ビーゴーイング
外構A: (株)国策測量設計
外構B: 未定
外構C: (株)イズム・グリーン

施工 建築A-1: 高組・谷脇 経常JV
建築A-2: 橋本川島・東成 経常JV
建築A-3: 新谷・多東 経常JV
建築B-1: 新谷・菅原 経常JV
建築B-2: 高組・石田 経常JV
建築B-3: 島山・東成 経常JV
建築C-1: 盛永・菅原 特定JV
建築C-2: 廣野・岸田 経常JV
建築C-3: 荒井・石田 経常JV

電気A: 大東電気工事(株)
電気B: (株)田島電気商店
電気C: (株)電業
衛生A: エーピーテクノ・旭川暖房経常JV
衛生B: 弘友・旭川暖房 経常V
衛生C: 木本・ガス管 経常JV
建具A-1: 太陽工業(有)
建具A-2: (株)児玉製作所
建具A-3: (有)杏和建具
建具B-1: 太陽工業(有)
建具B-2: (有)杏和建具
建具B-3: (株)児玉製作所
建具C-1: (株)児玉製作所
建具C-2: (有)杏和建具
建具C-3: (有)平和建具工芸
外構A: 高橋建設(株)
外構B: 未定
外構C: 松藤土建(株)

はこだてしどうえいじゅうたくしんちくこうじ(がーでんひるあさひおかだいさんだんち)

函館市道営住宅新築工事(ガーデンヒル旭岡第三団地)

渡島総合振興局
函館市

施設の説明

この道営住宅は近隣に中学校、養護学校、養護老人ホーム等がある閑静な住宅街に位置します。

配置に当たっては、主要な生活動線や、敷地の高低差を考慮し、最小限の造成に留めるなどコスト縮減を図るほか、住戸は南側を居間とすることで生活空間に採光をふんだんに取り入れる計画としています。

また、道南杉材を部分的に採用し、地域材の地産地消に取り組みました。

発注者	北海道知事
所在地	函館市西旭岡町3丁目27番地
施設用途	共同住宅
敷地面積	2,007.37㎡
延床面積	390.86㎡
	1棟 6戸(2LDK:6戸)

階数	平屋
構造	W造
竣工	令和2年1月

設計	建築・設備:(株)創健社 外構:(株)東亜エンジニアリング
監理	建築・設備:(株)かわしろ建築設計事務所 外構:(株)リージャスト

施工	森川・紀の國経常JV
----	------------



ほっかいどうりつ きたのもり
北海道立北の森づくり学院校舎新築工事

上川総合振興局
旭川市



施設の説明

、「(仮称)北海道立林業大学校基本構想」に基づき、北海道の豊かな生態系をはぐむ森林を守り、育て、将来の世代に引き継いでいく、百年先を見据えた森林づくりを推進する理念のもと、林業・木材産業の即戦力となり、将来的に企業等の中核を担う地域に根差した人材を育成することを目標に計画された施設です。

建物全体は、北海道内の材料・技術により木の持つ香りや温もりなどの美しさを生かした北海道の林業大学校にふさわしい建築・景観としながら、利用者・地域からも愛され、北海道の森林マイスターが集まり育つ施設とすることを基本方針としています。

発注者	北海道知事
所在地	旭川市西神楽1線10号174-22
施設用途	専修学校
敷地面積	6,869.70㎡
延床面積	1,473.44㎡
階数	地上2階 地下1階
構造	W造 + RC造
竣工	令和3年1月
設計	建築:株式会社遠藤建築アトリエ 設備:株式会社ビーゴーイング 外溝:株式会社アサヒ建設コンサルタント

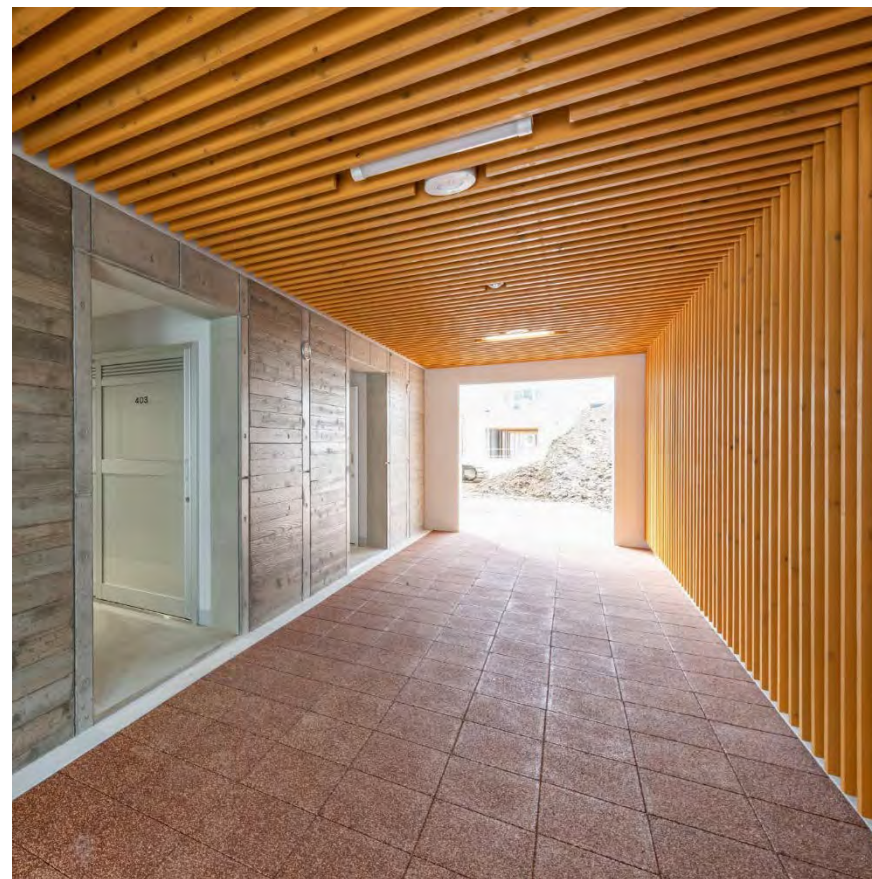
監理	建築:株式会社遠藤建築アトリエ 設備:株式会社ビーゴーイング 外構:株式会社フジ土木設計
施工	建築Ⅰ:高組・多東・サンエービルド特定JV 建築Ⅱ:荒井・谷脇経常JV 電気:株式会社電業 暖房:大洋・有我経常JV 衛生:エーピーテクノ・鹿取永井経常JV 外溝:高橋建設株式会社

きこないちようどうえいじゆうたくしんちくこうじ(であえーるえきまえだんちびー)

木古内町道営住宅新築工事(であえーる駅前団地B)

渡島総合振興局
木古内町

住



施設の説明

北海道新幹線の開業に伴い発生する新たな住宅需要に対応するため、道営住宅の広域的な再配置によって行う、中層耐火構造2棟49戸の団地整備の第2期工事です。

1棟目と同様に1階共用部には道南杉型枠を使用したコンクリート壁面を計画しています。団地広場については、団地の西側隣地に整備予定の町営小規模多機能型介護施設と共有できるよう、住棟配置や広場の仕様等を検討しています。

また、外構工事において、敷地の接道を確保するために道工事により町道(仮称)佐女川4線の道路整備を行います。

発注者	北海道知事
所在地	上磯郡木古内町字木古内184-1,510-4,510-12
施設用途	共同住宅
敷地面積	3,074.60㎡
延床面積	1,821.57㎡
	49戸(2DK:15戸、2LDK:13戸、3LDK:3戸)
階数	地上5階 塔屋1階
構造	壁式RC造
竣工	令和3年2月予定
設計	建築:株式会社 高岡建築設計事務所 設備:函館設備設計家協同組合 外溝:株式会社 ノース技研

監理	建築:株式会社 高岡建築設計事務所 設備:函館設備設計家協同組合
----	-------------------------------------

施工	建築Ⅰ:松本・平林経常建設共同企業体 建築Ⅱ:齋藤建設・三光工業経常建設共同企業体 建具Ⅰ:有限会社 佐藤建具店 建具Ⅱ:株式会社 内ヶ島製作所 電気:株式会社 外山電工 衛生:株式会社 岡田商会 外溝:未定
----	--

ほっかいどうかいたくのむらきゆうたけいしょうてんしゅぞうぶとうほかかいしゅうこうじ

北海道開拓の村旧武井商店酒造部棟ほか改修工事

石狩振興局
札幌市

施設の説明

北海道開拓の村に復元・展示されている、歴史的建造物の改修工事です。

現在、道では、北海道開拓の村を含む道立自然公園野幌森林公園の百年記念施設を、歴史文化体験交流空間として再生する取り組みを推進しており、今回の改修工事もその事業の一環となっています。

対象の「旧武井商店酒造部棟」、「旧三ます河本そば屋」は、どちらも明治期の建築物を復元展示しているもので、北海道の明治の生活文化を未来に継承する貴重な歴史資料です。

歴史的な価値を保存するため、材料は可能な限り再利用に努め、新しい材料を用いる場合には古色塗装を施すなど、歴史的建築物ならではの配慮をしています。

また、柿葺き(こけらぶき)の屋根は、道内では失われた技術となっており、今回の改修工事で道外の専門職人による伝統建築技術の伝承を図ります。

改修後は、蕎麦打ち体験や、道産日本酒の利き酒体験など、明治期の用途を踏襲した活用を図る予定です。

改修概要

- ①屋根の柿葺き(こけらぶき)の葺き替え
- ②外壁下見板の撤去・再取り付け、一部張り替え(古色塗装)
- ③砂壁・漆喰の塗替え
- ④構造体補強(火打ち・登り梁新設、根継ぎ補修) など

発注者	北海道知事
所在地	札幌市厚別区厚別町小野幌50-1
施設用途	歴史的展示建造物(店舗)
敷地面積	1446.60㎡
延床面積	588.42㎡(旧武井商店酒造部) 312.07㎡(旧三ます河本そば屋)
階数	地上2階
構造	木造 木骨石造(旧三ます河本そば屋石倉)
竣工	令和2年2月
設計	株式会社北総研
監理	株式会社アトリエアク
施工	丸彦渡辺・武部特定工事共同企業体

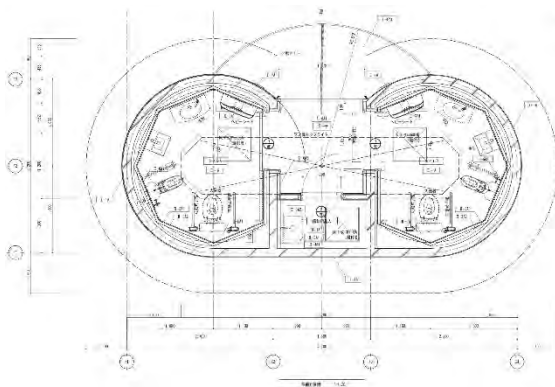
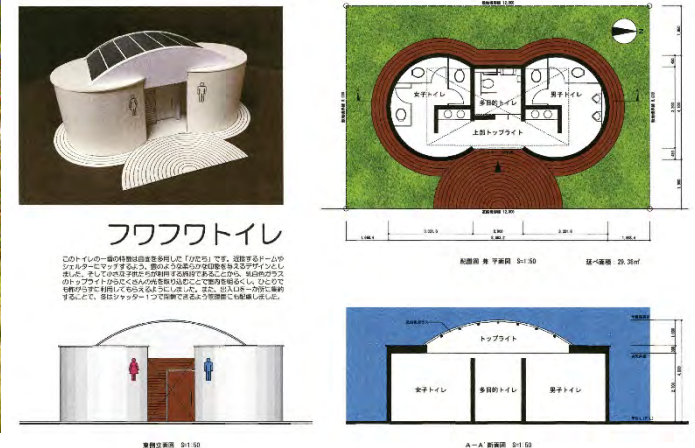
左上 | 旧三ます河本そば屋 改修前 右上 | 旧三ます河本そば屋 改修後 左中 | 旧武井商店 改修前 右中 | 旧武井商店 改修後 左下 | こけら葺きの屋根(旧武井商店) 右下 | こけら葺きの施工中の様子

ほっかいどうりつえころじーぱーくおくがいとれかいちくそのたこうじ

北海道立エコロジーパーク屋外トイレ改築その他工事

十勝総合振興局
音更町

他



施設の説明

新設されたフワフワドームトイレは、高校生建築デザインコンクールで2018年度に最優秀作品賞に選ばれた作品を再現した屋外トイレです。曲面を活かした雲のような柔らかい印象で、エコロジーパーク内の自然の中でも、人工物としての印象を緩和しています。

実施にあたっては、天井は園内の既存のトイレ(カシワのトイレ)の膜天井のデザインを取り入れることでパーク全体の調和を図ると共に、トプライトから内部に降りそそぐ柔らかい採光と木の内装により温もりのあるトイレ空間を演出しました。

将来の建築技術者となる若年層の育成と技術力の向上を図る北海道の取組の中で、高校生の夢を体現した建築物の一つです。

発注者	北海道知事 鈴木 直道
所在地	音更町十勝川温泉南18丁目1番地
施設用途	屋外トイレ
延床面積	54.21㎡ (新築:19.88㎡ 改修:9.45㎡ 解体:12.44㎡×2棟)
階数	平屋建て
構造	新築:RC造 改修:S造 解体:S造
竣工	令和2年(2020年)11月
設計	まちの建築家あくていぶネット協同組合
監理	株式会社 谷津設計
施工	株式会社 十勝工建

左上 | フワフワドームトイレ(新築) 左下 | フワフワドームトイレ 平面図 右上 | フワフワドームトイレ 内観 右下 | 建築デザインコンクール 資料